

シンポジウム

縄文・弥生時代の編組製品研究の新展開 - 植物資源利用・技法・用途 -

日時：2015年11月22日（日） 9：30～17：00（受付開始9：00）

場所：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー 10階 1076番教室

参加：無料（資料あり・事前申込み不要）

主催：明治大学日本先史文化研究所

科学研究費補助金「日本の縄文・弥生時代遺跡出土編組・繊維製品等素材の考古植物学的研究」（代表鈴木三男）
研究グループ

司会進行 工藤雄一郎（国立歴史民俗博物館）

I. 分析・研究法

- 9:30-10:00 編組製品の加工技術 -下宅部遺跡の事例- 千葉敏朗（東村山ふるさと歴史館）
- 10:00-10:30 縄文・弥生時代の編組製品素材植物とその地域性 能城修一（森林総合研究所）・小林和貴（東北大学植物園）
- 10:30-11:00 庄痕レプリカ法からみた縄文土器の敷物 真邊 彩（鹿児島県立埋蔵文化財センター）
- 11:15-11:45 縄文・弥生時代の編組製品製作技法の特徴と時代差 佐々木由香（明治大学日本先史文化研究所）
- 11:45-12:15 縄文・弥生時代の樹皮製品の素材とその地域性 鈴木三男（東北大学植物園）

II. 調査・保存処理・活用

- 13:15-13:45 編組製品の発掘と保存 -恵庭市柏木川4遺跡- 田口 尚（北海道埋蔵文化財センター）
- 13:45-14:15 鳥浜貝塚の編組製品の発掘 網谷克彦（福井県陶芸館）
- 14:15-14:45 鳥浜貝塚での編組製品の保存の現状と再調査 鯨本眞友美（福井県立若狭歴史博物館）
- 15:00-15:30 東名遺跡の編組製品の発掘から復元まで 西田 巖（佐賀市教育委員会）
- 15:30-16:00 高住井手添遺跡の発掘調査と編組製品 濱田竜彦（鳥取県立むきばんだ史跡公園）
- 16:00-16:30 弥生時代のかごの復元と活用例-白江梯川遺跡出土のかごをもとに- 本田秀生（石川県金沢城調査研究所）

本シンポジウムに関する問い合わせ・連絡先 〒980-0862 仙台市青葉区川内12-2 東北大学植物園
小林和貴 (kazutaka@m.tohoku.ac.jp)・大山彩子 (ayako.rapi@m.tohoku.ac.jp)

【最寄駅からの明治大学までのアクセス】

- JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅
下車徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩約5分



下宅部遺跡出土のかごづくりの復元

石井礼子画